

# 運動会の昼食 弁当？ 給食？ —社会的格差と平等—



めやす

90分

時間

動き(プログラムの流れ)

ポイント

トータル時間

アクティビティなどの時間

**ねらい**

- ①運動会の昼食の持ち方をテーマに、社会的格差がある中での平等とは何かを考える。
- ②現実として、いろいろな家庭環境や経済状況からくる社会的格差がある中で、それを「見えなくする」のではなく、どのような手だてが妥当なのかを考えたり、格差を越える別の方法を考えることを経験する。

**キーワード**

社会的格差、結果の平等

**流れ(時間配分も含む)**

スタート

5分

## 1 ねらいと進め方の説明

今日は、多くの人が経験をしている運動会の昼食の持ち方をテーマに、社会的格差がある中での平等とは何か、考えたいと思います。

運動会の昼食は、学校によって、家族がお弁当を持ってきて運動場でお重を囲んで昼食をとるところもあれば、子どもたちは教室で給食を食べるところもあるようです。

今日は、皆さんの体験や感覚をフルに活かしながら、話し合っていきましょう。

場の設定

- 最初は机なしの講演会形式。  
※机は後で使うので会場の横にたんで置いておく。
- すぐにペアで対話ができるよう、座席は2の倍数で列を作っておく。
- 前に「社会的格差がある中での平等とは何か」と書かか貼っておくとよい。

●適宜42ページも参考にする。

導入

5分

15分

## 2 ウォーミングアップ

5分

**【ペア・コミュニケーション】**

今から2人で対話をするために、向かい合ってペアを作りましょう。ではまず、こちらの方とこちらの方で、向かい合ってペアを作ってみてください。このように、他の皆さんも向かい合ってペアを作ってください。どうぞ。

モデルを示してから全体に動いてもらう。

ウォーミングアップの流れを確認しておき、次第に今日のテーマに焦点化していく。

●参加者の中から2人にモデルをお願いし、視覚的に説明するとよい。

対話をする順番、時間、テーマは、こちらで決めます。まず、向かって右側の方から、1人30秒ずつお話してもらいます。では、最初のテーマは、「大好きなおにぎりの具」です。最初は「こんにちは」と握手をしてから始めてください。

### 時間はすべての質問で、30秒×2回=1分

1) 大好きなおにぎりの具は何ですか？

★ペアを交代してもらおう。

片側の方が1つずつ後から前にずれる。

2) 遠足の時、よく持っていったおやつといえば？

★を繰り返す。

3) 運動会のお昼は、どうしていましたか？

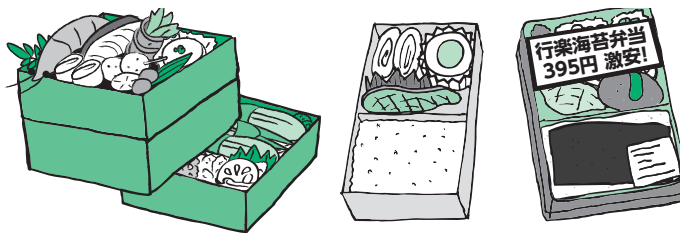
10分

10分

## [イラストで考える ー今どきのお弁当事情ー]

1) さて、今どきのお弁当事情ってどんなふうになっているのでしょうか？ 今、インターネットで検索すると、お弁当のレシピ集や画像がたくさん出てきます。ここに3種類のお弁当のイラストがあります。いずれも学校の運動会でのお弁当のイラストです。

資料のイラストを前に貼る。



2) 今からペアを合体して4人グループになってもらいます。自己紹介をしてから、今どきの学校の運動会でのお弁当事情について話し合ってください。

メイン

20分

45分

## ③ 運動会の昼食 弁当？ 給食？

20分

### [グループ討議]

1) それでは、これからある小学校の運動会の昼食の持ち方について考えてもらいたいと思います。各グループに2枚ずつワークシートを配付します。ワークシート①は「4つの案」、ワークシート②は「状況設定カード」です。

ワークシート①は各グループに配付する。

ワークシート②はA～Dを切り取って、各グループに違うカードを配付する。

●まずは誰にでも話しやすい話題から始める。明太子、しゃけ、ツナマヨ、チャーハンなど、実に多様な好みがあることが分かる。

●学校の行事と食べ物の関係を思い出してもらおう。「キャラメル」「ポテトチップ」「グミ系のお菓子」など、世代による違いがあったり、おやつ禁止だった人もいることが予想される。

●いよいよ、今日のテーマに焦点化。朝から場所取りをして家族とお重を囲んだという人もいれば、学校の教室でみんなで給食を食べていたという人もいる。世代や地域による差異がみえてくる。

●手の込んだ弁当、ふつうの手作り弁当、コンビニ弁当のイラストを用意しておく。

●学校で見た話、聞いた話なども含めて、今どきの学校の運動会でのお弁当事情について思うことを聴きあってもらおう。

●「家族で食べて、親が来られない子は学校で先生と食べているらしい」「最近の親が作るキャラクター弁当はやりすぎだ」「運動会なのにホカ弁を持たされてくる子やパンの子もいるらしい」「家族で食べるのは無くなっているらしい」など、さまざまな意見が予想される。

●参加者が少ない場合はグループの人数を減らす。1グループ3～5人が望ましい。

●説明は5分以内で、グループ討議に15分残しておく。

2)ある小学校で、運動会の昼食の持ち方について話し合いが行われています。運動会の昼食時に、保護者が来られなかったり、お弁当を持って来られない子どもがいるのです。その対応策について、学校の教諭が以下の4つの案を考えました。ワークシート①を見てください。

### ワークシート①の4つの案を読んで簡潔に紹介する。

3)次に、状況設定カードを見てください。あなたのグループは、A～Dのいずれか1つの小学校区の状況設定カードを受け取っています。今日は、校区のPTAの方から意見をいただくことになっています。皆さんは、PTAの代表として今から話し合い、4つの案のうちどれが最も適切だと思うか考え、学校に提案してください。学校には地域性があり、同じ課題を抱えていても、その解決の方法はさまざまです。その小学校区のPTAであることを踏まえて、話し合ってください。

4)ここで、話し合いの仕方について説明します。みなさんに「司会者」「報告者」「記録者」「盛り上げ役」のいずれかの役割になっていただきます。

報告者は、あとでグループの話し合いのまとめを発表していただきます。報告者は、①まず、あなたの小学校区の番号（A～D）と校区の紹介をしてください。②次に、選んだ番号とその番号を選んだ理由を説明してください。③最後に、話し合いの中でおもしろかったエピソードを紹介してください。

白紙とマーカーを配付するので、記録者は①②③について、簡潔に大きな字で書いてください。盛り上げ役は、ある時は聴き役になったり、ある時は反対意見を述べてみたりして、グループの話し合いが活性化するようにしてください。では、それぞれの役割を決めたら、司会者を中心に話し合いを進めてください。

●この段階では、各グループは自分の小学校区の状況しか知らない。発表のときに、他のグループの状況設定を知ることになる。

●4つの役割や3点の報告ポイントを前に書いておくとよい。

40分

20分

## 【各グループからの発表】

1)ここで、各グループに全ての状況設定カード(ワークシート②)を配付します。実は、AからDの小学校は、それぞれ次のような地域の状況を抱えています。

### ここでワークシート②を配付し、A～Dの小学校区の状況を簡潔に説明する。

2)さて、このような条件の下、各グループはどのような結論を出したのでしょうか？ 今から、各グループから、学校への提案意見として何番を選んだのか発表してもらいます。

3)報告者は、2分以内で、①まず、あなたの小学校区の番号を教えてください。②次に、選んだ番号とその番号を選んだ理由を説明してください。③最後に、話し合いの中でおもしろかったエピソードを紹介してください。

●説明は、社会的背景に関する情報なので、しっかりと伝える。

●結論を紹介するだけでなく、選んだ理由や話し合いのプロセスで出てきたエピソードを丁寧に紹介してもらうようにする。

4) 記録者は、紙をホワイトボード(壁)に掲示してください。

60分

### 5分 [グループでのふりかえり]

1) 各グループの発表を聞いて気づいたことを、各グループで話し合ってください。

2) 2~3グループに話し合ったことを発表してもらいます。

つなぐ

65分

## 25分 4 新しいアイデアを考えよう!!

5分 校区の社会的背景によって、考え方が異なってくることに気づいたと思います。子どもの暮らしの中には、現実に社会的格差があります。そして、それは子ども自身が解決できることではありません。

親が運動会に来なかったり、コンビニ弁当しか持って来られないのは、もちろんその子のせいではありません。一方、運動会に来ない(来られない)、コンビニ弁当を子どもに持たせる親が悪いのかというと、一方的に決めつけられない深い事情がある場合も多いでしょう。また、親の問題だけでは解決できない問題をはらんでいる場合もあるでしょう。

また、中国や東南アジアなどから日本に来られた方の場合、中国や東南アジアには「弁当」という習慣がないため、保護者の方は弁当作りにとっても苦勞されるようです。

このような現実に対して、私たちはどのように向き合ったらよいのでしょうか。また、どのような配慮や手だてが適切なのでしょう。もっと一人ひとりが大切にされる昼食の時間、みんなが気持ちよくその時間を過ごせる昼食の時間はどんなものなのか、各グループでもう一度話し合ってみてください。

10分 時間は10分間差し上げます。新しい白紙を配付しますから、簡潔に書いてください。

### 5分 [各グループから発表]

各グループから1分以内で発表してください。

85分

### 5分 [おわりに]

各グループから面白いアイデアが出てきましたね。現実として厳しい社会的格差がある中では、例えば「持ってこられない子どもがいるから、一律に全員教室で給食にする」ことは、1つの解決の方策です。しかし、社会的格差の現実を「見えなくする」ことを安易に求めてしまう危険性もあります。

●校区の社会的背景によって、昼食の持ち方に関する考え方が異なってくることに気づく。また、他の校区の状況であれば、どうしたらよいのか考えるグループも出てくると予想される。

●コメントは、グループでのふりかえりの様子を見ながら、その場にふさわしいコメントに変化させる。

●まったく新しいアイデアでも良いし、4つの案に工夫を加えることもできることを伝える。

以下のようなユニークなアイデアが登場することもある。

- ・お弁当の枠を越えて、お弁当作りをコンテスト形式にする。
- ・飯合炊さんのように皆でカレーを作る。

一方、「大多数の子どもが持って来られるのだから、一律に親と一緒に弁当を食べる」とすることは、子どもの気持ちや子どものおかれた状況に対する配慮に欠けていると言わざるを得ません。

生活状況や生活習慣の違う人も、一緒に参加できる方法を皆で新たに考えていくことが必要ではないでしょうか。

## 準備物

- ワークシート① 4つの案 各グループ2枚
- ワークシート② 状況設定カード
  - ・グループ討議用に各グループに違うカード2枚
  - ・各グループからの発表時に各グループ1枚
- 資料 お弁当のイラスト3種類  
(手の込んだ弁当、ふつうの手作り弁当、コンビニ弁当)  
※会場の後ろからでも見えるように大きめに拡大する
- A3白紙 各グループ3枚
- マーカー (赤・黒・青セット) 各グループ1セット
- タイマー
- ホワイトボードとホワイトボード用マーカー
- マグネットまたはセロテープ